

クラインガルテンだより

■発行/松本市指定管理者 四賀むらづくり株式会社 〒399-7404 長野県松本市取出481-1 TEL.0263-64-4447 FAX.0263-88-4447 10月25日 ■印刷/楳プラルト

2019 秋号 Vol.38



錦秋を肌で感じた 米づくり!

初挑戦の稲刈り風景

四賀の

とっておきの

場所

いろいろ

彩に大感動!

地元でも、わずかな人しか訪れたことがないと思われる必見の紅葉スポットは、SGC金山会館の庭です。車を降りた途端に山の頂上までが一望できて、まばゆいばかりのコントラストに圧倒されます。

ここは飲食店チェーンの「養老乃瀧」が管理する区域で、その感動を無料で味わうことができますから、一度出かけてみませんか? 見ごろは11月初旬です。



県歌に「信濃の国は十州に境連ぬる」とあるように、信州は南北に長い地域が連なり北部、中部、南部と気候も随分異なります。作物も作柄もそうですね。

北アルプスを望め、日本の原風景を残す四賀の里の魅力にひかれて、坊主山クラインガルテンを利用して3年目のガルテナーさん。今年、新しく挑んだのは稲作でした。近所の方に援助をしてもらって、田植えから脱穀までの米づくりを肌で実感したようです。新米での熱々の炊き立てご飯やおにぎりを思うと、自然に笑みがこぼれます。

そろそろ紅葉の見ごろに別れを告げて、落ち葉を踏みしめる季節がやってきますね。来春の作付けに心を馳せながら有機の土づくりに精を出しましょう。

山々にこだまする秋の運動会

赤勝下！
自勝下！
選抜リレー
9月22日(日)



今年も四賀小学校恒例の秋の大会運動会が開かれました。雨天順延となったこの日、朝早くから高学年児童を中心に準備を進め、さわやかな天候のもと「協力、挑戦、感動」をスローガンとした各種競技が繰り広げられました。
大勢の観覧者が見守る中、児童たちは一生懸命にダンスやかけっこで自分らしさを表現していて、終始ほのぼのとした雰囲気で大成功の運動会でした。

鮮やかに目を引く花の群れ
秋空に映える彼岸花

車で通りかかっても、あちこちで目を引く赤く鮮やかな彼岸花の群れに出合います。四賀地区内でも田んぼの土手や生垣の間、墓地などにも垣間見られます。今年も天候の影響で開花時期が遅くなったように報道されています。

国内では見どころがたくさんありますが、長野県内では下伊那郡松川町の仏教寺院「嶺岳寺」の境内にいたるところで観賞できることが有名です。



きれいでいじめるね！

春から夏にかけてラウベの周りを彩っていた草花も、夏の終わりとともに宿根草は葉の刈り取りが必要になります。そんなガルテナーさんの姿を見かけて、「きれいにしているね！」と声をかけると



「来年の花のために毎年この時期に刈ってしまおうんだよ」と答えが返ります。まだ気温の高

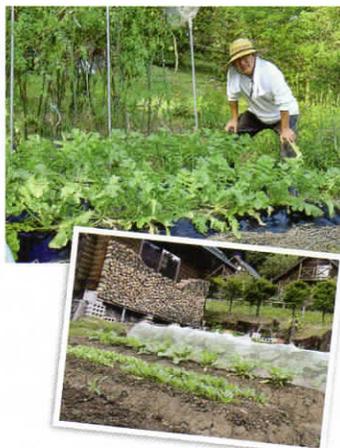
い中、汗を拭きながら刈り取った株を指差して花の名前を教えてくださいました。緑ヶ丘でこの場所を選んだことを自負して来春に思いを巡らせながら、にこやかに語る加藤さんです。

秋野菜の収穫が
楽しみです！



「どやーええ大根やろー！」自慢げに指を差した大根葉は、青々と

立派に成育しています。この夏の猛暑でなかなか発芽してこない秋野菜にガルテナーの皆さんも一喜一憂で、ようやく芽を出した葉ものは害虫に食い荒らされて散々な目に遭ったようです。自慢した岡部さんも前段は害虫退治に大わらわ！毎年繰り返される季節と害虫との闘いには閉口しますね。皆さんそれぞれに工夫した時き床では、作物がすくすくと育って晩秋の収穫を待っています。



ガルテン歳時記

令和の元号を迎えて半年。冬ごもりにはまだ早いこの時期ですが、アルプスも日増しに冬の姿に変わっていきます。あちこちの田んぼでは秋起こしの姿も見られます。また各地では一年間の集大成の文化祭が盛んに行われています。

ガルテナーの皆さんは、来年に向けて沢山の思いを膨らませていることでしょう。



四賀



四賀ガルテナーの楽しみ

ガルテンは何してん!?

「ガルテン暮らしのすべてが喜び」

緑ヶ丘クラインガルテン
3553号

たうち ちゅうせけ
田内 洋典 さん(75)

埼玉県富士見市から
通い4年目の田内洋典
さんです。ラウベはク
ラブハウス西側の山際
で、東に視界が開ける
高い位置にあります。

ベランダに出て朝焼
けや夕陽に染まる空に
感動し、時には眼下に
広がる雲海に心を奪わ

れ、刻々と表情を変える山々を眺
める田内さん。「まるで桃源郷で
暮らしているよう。畑仕事も炊事
も、その時その時すべてが喜び
で、こんな気持ちをはじめて知っ
た」と話します。

入居のきっかけは各地のクライ
ンガルテンを紹介するテレビ番組
でした。当時、10年間介護をした
母・久江さん(享年93)が亡くな
り、介護の合間に楽しんでいた家
庭菜園も地主に返却を迫られて落
ち込んでいた田内さん。番組を見
た妻・昌子さん(63)の誘いで
緑ヶ丘を訪ね、即決しました。

緑ヶ丘には春から秋にかけて、隔
週で1週間ほど滞在します。夏の
草刈りがほどほどなのは、野菜作
りに加え、写真、ギター、地元の
「男の料理教室」に参加、温泉巡り
など、やりたいことが山ほどある
から。「特にこの夏は2人目の孫
が生まれて忙しかった」と田内さ
ん。「草だらけだけど『ほっとする
畑だ』って評判だよ」と笑います。
今、凝っているのはパン作りで



す。ベランダのテーブルに季節の
花を飾り、焼きたてのパンと、お
気に入りの豆で入れたコーヒーを
運んで食べる昼食は最高とか。
「畑に出る前に仕込んでおけば昼
には焼きたて。落花生を収穫した
ら生地に入れてみたいね」とこ
り。

また、4年を過ごす間に「もの
すごくおいしい」特産品を発見。
安曇野で見つけたスモモの貴陽きやうを
お中元に、四賀地区のリングゴを
お歳暮に贈っています。果物は緑ヶ
丘でも採れ、いただいでジャムを
作ることも。「こういった心地よ
い距離感のご近所づきあいもあっ
て、ちつとも淋しくない」とい
います。

それでも、出産して間もない一
人娘の世話とギター奏者としての



活動で、なかなか緑ヶ丘に来られ
ない昌子さんとは毎日朝晩に電話
をかけ合い、ラインでお互いの食
事を送り合います。「妻のチェッ
クはちよつと厳しいね」とほほ笑
む田内さんです。





行って
みよう!

クラインガルテンを拠点に出かけるイベント案内

Event information

※イベントは、発表時より変更されている場合があります。事前にご確認ください。

安曇野やさいスイーツフェア「パプリカ&夏秋イチゴ」

開催日 11月10日(日)まで
ところ 安曇野市内のカフェ、洋菓子店など15店舗
お問い合わせ 安曇野市観光交流促進課 ☎0263-71-2053



安曇野産の野菜を使った期間限定のスイーツフェア。第10回の今回の素材はパプリカと夏秋イチゴ。市内15店舗の和洋菓子店や飲食店が工夫を凝らしたオリジナルスイーツを提供している。期間中、各店で配布するシールを集めて応募すると、抽選で商品券をプレゼント。

上高地閉山式

開催日 11月15日(金)AM11:30～
ところ 松本市上高地 河童橋たもと
お問い合わせ 上高地観光旅館組合 ☎0263-95-2405

毎年同日に開催する閉山式。今シーズンの無事と、自然への感謝、来シーズンの山の安全を祈願する神事などが行われる。新雪を頂く穂高連峰を背景に、梓川にお神酒を奉納。マイカー規制のため、参加の場合は、沢渡駐車場からバスなど公共交通機関を利用。

いのち 企画展「枯れざる生命～空穂と万葉集～」

開催日 11月24日(日)まで
ところ 松本市 窪田空穂記念館
お問い合わせ 同記念館 ☎0263-48-3440

松本市出身の歌人・窪田空穂の大きな業績のひとつ「万葉集評釈」。企画展では、空穂が「歴史上、尊いといふばかりでなく、一つの歌集としても枯れざる生命を持ってゐる…」と語った万葉集の魅力と、評釈に込められた思いを資料で展示。観覧料は大人310円、中学生以下無料。

長野県信濃美術館・松本市美術館交流展

日本画の冒険者たち—この秋、信州の名品に出会う—

開催日 11月24日(日)まで(月曜休館。祝日の場合は次の平日休館)
ところ 松本市 松本市美術館
お問い合わせ 同館 ☎0263-39-7400

長野県や松本地域にゆかりのある作家の日本画約80点。長野市にある長野県信濃美術館との共同企画展で、両館が所蔵する菱田春草や西郷孤月、石井柏亭など選りすぐりの作品を展示。観覧料は大人1000円、大学高校生・70歳以上の松本市民600円。

戸隠そば祭り 新そばの半ざる食べ歩き

開催日 11月1日(金)～24日(日)
ところ 長野市戸隠の半ざる手形参加店27店
お問い合わせ 戸隠観光情報センター ☎026-254-2888

戸隠そばの特徴のひとつ、馬蹄型に持った「ぼっち盛り」の半ざる(3ぼっち)が食べ歩ける。参加方法は、参加店か戸隠観光センターで販売しているチケットブック「蕎麦ごよみ」2200円(500円券×4枚付き)を購入し、参加店で金券として利用。新そばの時期だけの食べ歩きイベント。

秋の化石教室「レプリカ作り」

開催日 11月30日(土)AM9:30～、PM1:30～(2回開催)
ところ 松本市 四賀化石館
お問い合わせ 同館 ☎0263-64-3900

石膏で型取りしたアンモナイトや三葉虫、サメの歯に色を塗り、オリジナルのレプリカを作る。石膏が固まるまでの時間を使って、四賀で発掘された「シガマッコウクジラ」の解説をする。対象は5歳以上。定員は各回20人。参加費は1人500円。参加申し込みは前日までに。

講演会「民芸運動から教わった松本の家具作り」

開催日 11月17日(日)PM1:30～
ところ 松本市 松本民芸館
お問い合わせ 同館 ☎0263-33-1569

講師は長野県民芸協会副会長の池田素民氏。定員30人。要予約。入館料は大人310円、中学生以下・70歳以上の市民無料。同館では企画展「丸山太郎の薫(わら)の一生 誇らずじみで美しく」を12月8日(日)まで開催中。蓑やばんどり(背中当て)など編んだ道具・編組品を中心に展示。

波多野睦美「クリスマス・キャロル」

歌と古楽器でおくる英国のクリスマス

開催日 12月22日(日)PM4:00～
ところ 松本市 松本市音楽文化ホール
お問い合わせ 同ホール ☎0263-47-2004

メゾソプラノ・波多野睦美さんの歌とバロックヴァイオリンやバロックチェロなど古楽器による英国のクリスマス音楽。後半は朗読や歌、ダンス、SK松本ジュニア合唱団の児童合唱で構成するディケンズの「クリスマス・キャロル」。チケットは一般4500円、25歳以下は2000円。

第29回国宝松本城「新春祝賀式」

開催日 2020年1月3日(金)AM10:00～
ところ 松本市 国宝松本城黒門枳形、本丸庭園
お問い合わせ 松本城管理事務所 ☎0263-32-2902

恒例の新春祝賀式。国宝松本城古城太鼓の初打ちをはじめ、先着1000人には松本城藩主家紋入りピンバッジの配布、羽根つき・こま回し大会、アルプホルンの演奏会、お楽しみ抽選会などを開催。無料(天守に入る方は有料)。